

SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、
持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

〈宣言日・変更日〉 2021年1月27日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
「共生（ともいき）」の精神の下、エネルギーを通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献する。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
エネルギーの地産地消			
目標に関連する取組内容			
ゴール	昨年末までの取組目標	取組目標の達成状況	本年末までの取組目標
	清掃工場の見学コースに事業紹介ブースにて、市内全校の小学4年生児童5,400人に対し、静岡市エネルギーの地産地消について説明実施予定。	清掃工場を見学した小学生及び一般見学者3,427人に対し、工場見学の一環として、静岡市エネルギーの地産地消の説明を実施。	新型コロナウイルス感染拡大防止により、従来の見学ルート・プログラムが変更となる為、感染拡大防止に最大限配慮した形で、静岡市エネルギーの地産地消に関する説明を継続的に実施する。
	2020年4月より買取を開始する市民の卒FIT電力を活用し、静岡市有施設のエネルギー地産率51.2%を目指す。	直近1年間の平均で静岡市有施設のエネルギー地産率52.6%を達成した。	引き続き市民の卒FIT電力や市内事業者からの買取を進め、更なる地産率向上を目指す。
	蓄電池設備の導入・制御により高度なエネルギーマネジメントシステムを官民連携で構築。今後も再生可能エネルギーの普及に資する商材開発を図る。	太陽光発電システム無償設置サービス（0円ソーラー）を開始。 静岡市内にZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）モデルハウスを建設し、ZEHの普及への取り組みを進めている。	引き続き太陽システムやZEHの普及に取り組むとともに、再生可能エネルギーの活用に資する商材を開発していく。
	発災時に避難所を設営する地区支部員に対して使用方法のレクチャーを行う。（市主催の研修に参加し、各区1回、計3回、60人に対し実施予定）	取組目標の通り、2020年2月に市主催の研修に参加し、各区1回、計3回、60人に対して、災害時に備えたレクチャーを実施した。	紙面・動画等の代替手段を用いて、災害時の蓄電池活用方法のレクチャーを継続する。
	静岡市内に設置済みの自社太陽光発電設備10施設2,281kWの電力を静岡市有施設に供給し、さらなるエネルギーの地産率向上を図る。	静岡市内に設置済みの自社太陽光発電設備10施設2,281kWの電力を静岡市有施設に供給したことに加え、新たに811kWの太陽光発電設備由来の電力を買い取り、市有施設への供給を開始した。	引き続き市内の地産電源の獲得に努め、更なる地産率向上を目指す。
	森林アドプト事業に協賛し、森林による二酸化炭素の吸収等、地球温暖化対策を目的に森林整備を行う。	森林アドプト事業に協賛。 事業内容としては、静岡市葵区井川地区において、2018～2019年度にかけ、約25haの森林整備を実施し、間伐材を活用した積み木を静岡市内こども園等へ寄贈した。	森林アドプト事業への協賛を継続し、森林整備へ貢献していく。 事業内容は、静岡市葵区井川地区において、引き続き、約30～45haの森林整備を実施する。（事業期間2018～2020年度）
	2020年4月より買取を開始する市民の卒FIT電力を活用し、更なるエネルギーの地産率向上を図る。	庁舎・学校等を通じて広報を行い、2020年末時点で累計179件の買取を実施した。	引き続き広報・啓発活動を行い、取り組みに賛同頂ける市民からの買取を推進していく。

（記載上の注意）

- 1 取組は3～5つの目標に関する取組を記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 目標はなるべく定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

事業所・団体等又は関連事業者等の名称	鈴与商事株式会社					
	（本社が届け出る場合はその事業所の数17）					
業種	7. 卸売・小売業					
代表者 職・氏名	職名	代表取締役社長				
	氏名	加藤 正博				
所在地	〒420-0859 静岡市葵区栄町1番地3					
URL	https://www.suzuyoshoji.co.jp/					
従業員（構成員）数	男性	413人	女性	125人	計	538人